

「国道2号大野地区沿岸部防災対策検討協議会」について

目的

近年の相次ぐ大型台風の来襲により、広島国道事務所管内においても、越波・高潮などによる沿岸部国道の部分崩壊や全面通行止め等の被害が発生しています（廿日市市丸石～大竹市玖波間では過去5回。特に平成16～18年は3年連続）。今後も同様な越波や高潮被害の発生が予想されることから、本協議会では関係自治体の道路・海岸管理者や学識経験者、さらには地域住民が一体となって、沿岸部における具体的な防災対策（越波対策）を検討し、地域の防災力を一層強化していくことを目的とし、昨年度から協議会を設置し検討を進めているものです。本年度第2回協議会では、12月の第1回協議会結果を踏まえた検討の他、施工方法・施工手順の検討等を行います。

第1回協議会(H19.12.25開催)検討概要

護岸の整備方針について

越波対策としての機能検証（模型実験）

歩道の整備方針（八坂山トンネル部）について

航空写真による海浜変形について

平成19年度 第2回協議会の検討内容(予定)

模型実験による機能検証

- ・現況の護岸構造と比較した漂流物実験結果等について。

護岸の整備方針

- ・護岸改良断面案について。
- ・取付部、階段構造の検討。
- ・施工方法及び施工手順の検討。

護岸改良が周辺環境に与える影響

- ・環境調査の進め方。
- ・反射波、流速の実験結果について。

景観評価

- ・今年度検討を踏まえたイメージパースの紹介。

地域防災力向上について



第1回協議会の様子